

中国
南西部山岳地帯におけるアグロフォレストリー事業
現地からのお便り

2018年5月

コンサベーション・インターナショナル

ガンブ村の持続可能な管理開始

ガンブ村のプロジェクトへのCIの支援は、昨年終了し、現在は村の組合によってアグロフォレストリーシステムが管理されています。住民たちは新しい組合について検討を続けています。森林の持続可能な保全についてのルールが制定され、一年間に大きな火事が起こらず、放牧がうまく管理されていれば管理組合が表彰されることになりました。

アグロフォレストリーシステムがコミュニティにもたらす収入は徐々に増えており、1年から2年で費用をまかなうことができる予定です。3月には、豚が出産しました。生まれた子豚たちは、半年で販売できるようになります。さくらんぼの花が咲き始め、まもなく実をつけるようになります。



元気に生まれた子豚たちと、チベットの黒豚（ガンブ村） © CI/Wang Heng



ガンブ村の桜 © CI/Wang Heng



プロジェクトを紹介する看板を設置© CI/Wang Heng



植樹を待つ春のプロジェクトサイト（ガンブ村） © CI/Wang Heng

Xishuangbanna 自然保護区のアグロフォレストリー計画

熱帯雨林保全財団、科学研究所、Xishuangbanna 自然保護区、雲南省モウ海県準保護区から専門家が集まり、Changtianba 村での参加型アプローチを用いたアグロフォレストリーの計画をつくりました。植樹のための種の選定とスケジュールが決まりました。暖かくなる 4 月に始める予定です。

今後の予定

Xishuangbanna 自然保護区で、アグロフォレストリーシステムを構築し、トレーニングをします。すべてのアグロフォレストリーのプロジェクトサイトをモニタリングし、必要な技術支援を行います。Xishuangbanna 自然保護区のパートナーのためのスタディツアーを実施します。

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。